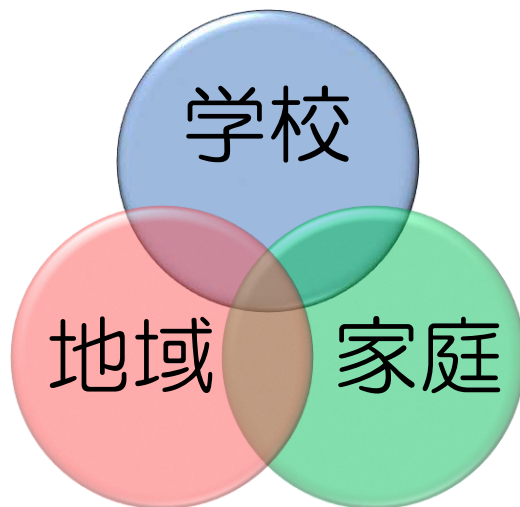


地域の学校応援団

四街道市学校支援活動事業

地域 みんなで子どもを育てるために



家庭・学校・地域のもつ教育力を高めあい、三者が連携する体制づくり

はじめに

四街道市教育委員会では、「学び つながり 輝きあい とともに未来を拓く人づくり」を基本理念とした「四街道市教育振興基本計画」を策定し、この計画に沿って教育施策を実施しています。この「四街道市教育振興基本計画」では、基本目標の1つとして「つながる」人づくりを掲げています。この目標に則り、地域とともにある学校づくりを推進するため、四街道市学校支援活動事業を行っています。

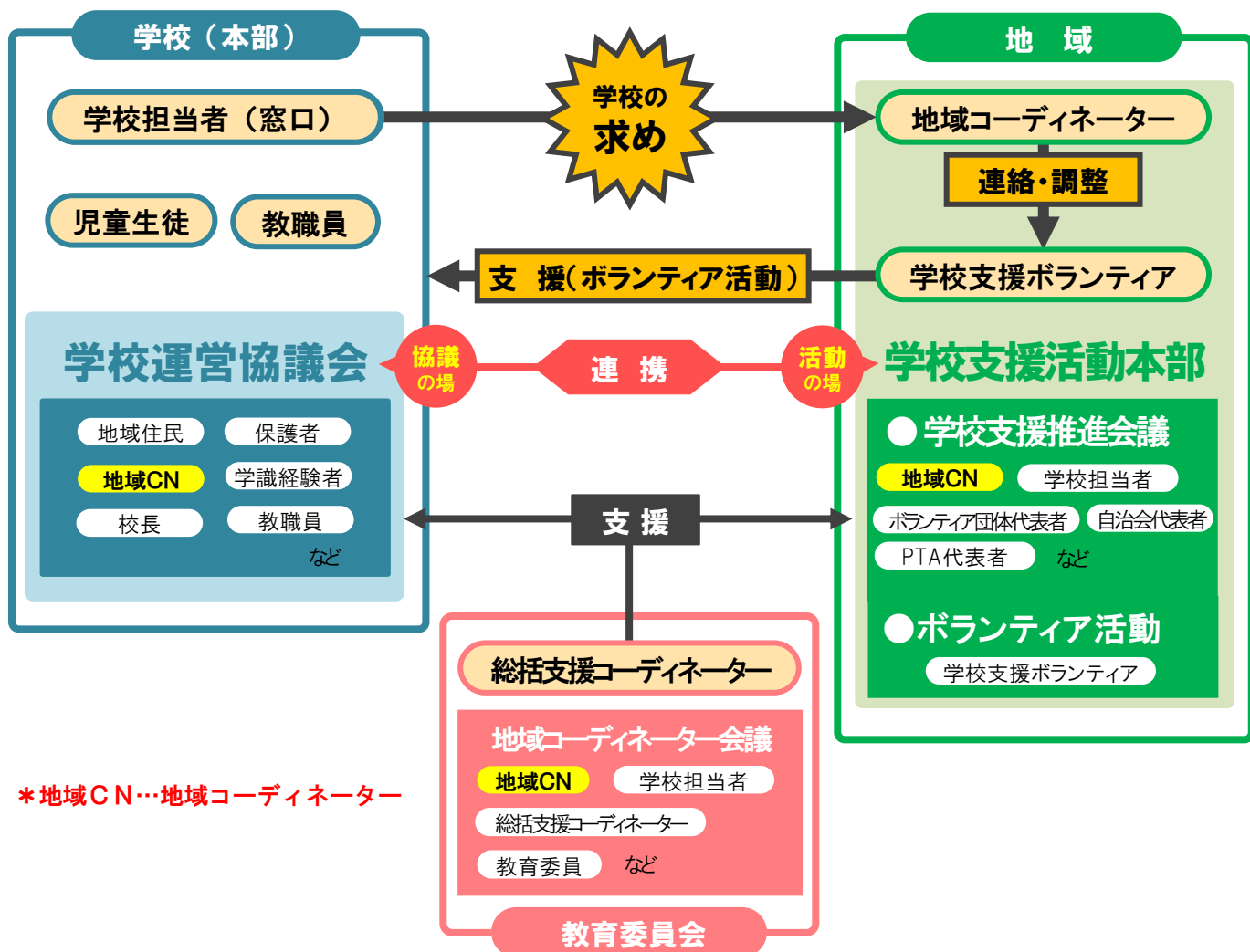
人々の持つ価値の多様化、家庭の在り方、情報化社会等により、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化をする中で、学校は様々な課題を抱えています。この事業は、学校運営や教育活動における地域のボランティアの協力を組織的なものとして、学校の願いとボランティアの力をつなぎ、より効果的な学校支援を行おうとするものです。また、学校支援活動を通して、地域の大人の生涯学習や自己実現、生きがいづくり等に資するとともに、学校と地域、地域と地域のつながりをさらに強いものとしていきます。

これらの活動を通じて地域が一体となって子どもたちを育てていけるよう、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の推進を図っていきます。

四街道市教育委員会
令和6年4月

1 学校支援活動事業のねらい

- ①本事業は、学校が必要とする求めに応じて、地域や保護者の力を組織化して学校を支えることをねらいとします。学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の体制づくりを行います。
- ②地域住民が、学校の教育活動にかかわることで、子どもたちにとって、地域の方と交流し多様な体験活動をする機会となり、コミュニケーション力や社会性が育ちます。また、周りの人への感謝の気持ちが深まります。
- ③多くの大人が、子どもたちに関わることで、よりきめ細かな教育を実現させます。
- ④地域住民の協力により、教員の負担を軽減することで、教員がより一層教育活動に力を注げるようにします。
- ⑤地域住民が、自らの経験や知識を教育に生かすことにより、生涯学習の成果を生かす場を広げ、自己実現や生きがいづくり等に資するようにします。
- ⑥地域住民が教育活動に携わることで、地域のきずなづくりにつなげ、地域の教育力を向上させます。
- ⑦地域の活性化を促し、学校を核とした地域づくりを行います。





地域コーディネーター会議



地域コーディネーター会議
(グループ協議)



学校支援推進会議



2 地域コーディネーターの役割

- ①地域コーディネーターは、学校が必要とする求めに応じて、学校支援ボランティアによる活動を調整する役割を担います。
- ②地域コーディネーターは、各地域の校長の推薦により選出され、四街道市教育委員会から委嘱を受けます。
- ③ 地域コーディネーターは、学校と打ち合わせを行い、学校から示された支援の内容に沿って、地域の情報等をもとに、支援活動に参加する人や協力体制の調整を行います。
- ④ 地域コーディネーターは、学校やPTA、学校運営協議会と連携して学校支援に関する活動を周知したり、報告したりします。

3 学校支援ボランティアの役割

- ① 学校支援ボランティアは、学校や地域コーディネーターの調整・依頼により、学校を支援するための活動を行います。
- ② 学校支援ボランティアは自由意思により活動に参加します。
- ③ 学校支援ボランティアの活動は、無償での活動となります。
- ④ 学校支援ボランティアが、学校支援活動に参加する場合には、事前に学校や地域コーディネーターが調整・依頼する、ボランティア参加の登録を行います。
- ⑤ 学校支援ボランティアが、活動中に事故等を起こした場合には、四街道市学校支援活動事業で加入している、ボランティア保険により対応します。

4 学校支援活動の具体例

ここで紹介しているものは一例です。全て取り組む必要はありません。それぞれの学校で、これまで取り組んできたことをコーディネーターの調整により組織化を図っていきます。

登下校の見守り



環境美化



読み聞かせ



伝統芸能



米づくり



自然観察



昔の遊び体験



クラブ活動



5 学校支援活動事業を進めるにあたって

＜学校支援活動事業を担当される先生方へ＞

- ①どんな支援活動を求めているのか、内容を明確にして計画的に支援の依頼をお願いします。
明確な計画は学校支援ボランティアの募集のしやすさにつながります。
- ②学校支援活動事業について説明をする場の設定や、ボランティアの募集に関することなど、地域コーディネーターへのご協力をお願いします。
- ③地域コーディネーターや学校支援ボランティアとコミュニケーションを十分にとり、共通理解を図って支援を依頼しましょう。学校の求めと、ボランティア活動のねらいの方向性が異なっていると、子どもたちの学習活動に悪い影響を与えることにもつながります。事前の打ち合わせ等により、よりよい活動となるように準備をお願いします。
- ④活動を、より効果的なものとするために事前に児童生徒に学校支援ボランティアが何のために来ているのか、活動についてよく話してください。また、学校支援ボランティアとともに活動することは規範意識やコミュニケーション力を向上させるよい機会です。地域の方に支えられて教育活動がなされていることに気付かせるような指導をお願いします。
- ⑤学校支援活動事業の活動が円滑に実施できるよう、学校職員や保護者等に本活動を紹介し、地域のみんで学校を支えているという意識を高めるようお願いします。
- ⑥次の支援活動がさらに充実したものとなるために、活動の振り返りを行い、成果と課題を洗い出し、情報を共有してください。
- ⑦感謝の気持ちをもって学校支援ボランティアとの信頼関係を構築してください。
- ⑧学校ではボランティアが集まって話し合いをしたり休憩するなどの場所の提供をお願いします。

<地域コーディネーターの方へ>

- ① 学校の学校支援活動事業を担当される先生と連絡を十分に取り、支援内容や方針を把握してください。
- ② 学校の示す支援内容により、必要に応じて学校支援ボランティアを募集します。地域とのつながりを生かして、保護者や地域の方に積極的に声をかけボランティアを集め、学校と話し合い調整をお願いします。募集がうまく進まないときには、学校の担当職員と協力してください。
- ③ 保護者の中には、学校を支援するために学校支援ボランティアの方が活動していることに気付いていない方もいます。努めて、学校支援ボランティアの活動を紹介し、地域のみんなで学校を支えているという意識を高めるようお願いします。
- ④ 多くの人に関わる事業ですので、課題が生じることもあります。そのようなときには、一人で悩まずに、地域コーディネーターの取りまとめ役である総括支援コーディネーターや学校の関係職員と相談してみてください。



<学校支援ボランティアの方へ>

- ① 地域コーディネーターや学校職員とコミュニケーションを十分にとり、同じ目的を持って活動することで、よりよい活動となるようにお願いします。また、当日の持ち物や活動内容、場所の確認をお願いします。
- ② 小学1年生から中学3年生までの様々な学年の児童生徒がいます。幼少時期には明るく屈託のない子どもたちも、成長に伴い、行動に変化が訪れます。時として、無関心な態度を示したりするときもあります。基本的には、子どもたちのよさを前面に支持し、よいところを伸ばすスタンスで接するようお願いします。その一方で相手の気持ちを考えない行動や、けがや命にかかわるような行為に対しては、毅然とした態度で、注意をお願いします。
- ③ 児童生徒にとっても学校支援ボランティアの方の支援活動は、規範意識やコミュニケーション力を向上させるよい機会となります。明るい挨拶をするなど、児童生徒のよいお手本となるようにお願いします。また、学校や学校職員、他のボランティアの方等の批判や人の悪口を児童や生徒の前で言うことは、決して行わないでください。
- ④ 活動の中で気づいたことや、対応に困ったことは、地域コーディネーターや学校職員に相談し、課題を共有して解決できるようにしてください。
- ⑤ 四街道市学校支援活動事業は、地域の教育力を向上させることも目的としています。学校支援ボランティアの方が、互いにコミュニケーションをとり、仲間を増やし、楽しく継続的に取り組むことが、地域の教育の力を向上させることにつながります。
- ⑥ 学校の中では、様々な個人情報が存在します。活動中で知りえた個人情報は決して、話さないようにしてください。
- ⑦ 自分の思いだけで活動せずに、学校職員の持つねらいや目標を意識して行動してください。